

全体概況

平成23年度業務実績の小項目評価

分野		評価 項目数	評価区分				
			V	IV	III	II	I
			大幅に上 回って実施	計画を上 回って実施	計画を順調 に実施	計画を十分 に実施でき ていない	計画を大幅 に下回って いる
第1	府民に提供するサービスその他の業務の質の向上	22	0	3	19	0	0
第2	業務運営の改善及び効率化	9	0	2	7	0	0
合計		31	0	5	26	0	0

* III以外の項目

評価	No.	項目	達成度の判断理由（要旨）
第1 府民に提供するサービスその他の業務の質の向上			
IV	16	医療の標準化と最適な医療の提供 (P25～26)	<p>○クリニカルパスの適用・作成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 適用率については、精神Cを除く4病院中3病院が目標を、また4病院すべてが前年度実績を上回り、種類数については、4病院とも目標及び前年度実績を上回った。 精神Cでは、緊急救急病棟に入院した統合失調症の患者に、統合失調症クリニカルパスを98例（適用率93.3%）適用 成人病Cでは、電子カルテ導入に伴うクリニカルパスの情報システム化などにより、適用率、適用数とも大幅に拡大 <p>○DPCの活用による診療データの収集・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> (急性期C)・診療科別のDPC群分類による粗利管理による分析情報の共有化や他病院との比較分析を実施 (成人病C)・「DPC薬事診療報酬委員会」において、包括総収入などの分析結果の報告や、他病院との比較を実施 (母子C)・DPCのコーディング（疾病名の決定）技術の蓄積やワーキンググループの設置による、診療科別・疾病名別に検討・分析や、他の類似小児病院とのベンチマークの実施

			クリニカルパス適用状況					
病院名	区分	平成22年度実績	平成23年度目標	平成23年度実績	目標差			
					前年度差			
急性期C	適用率 (%)	82.0	81.0	83.5	2.5	1.5		
					246	150		
	種類数 (種)	646	550	796	25	4		
					4.5	2		
呼吸器C	適用率 (%)	41.5	39.0	43.5	20.3	20.9		
					25	4		
種類数 (種)	89	68	93	166	154			
				42.2	45.0	43.6	△1.4	1.4
母子C	適用率 (%)	59.4	60.0	80.3	36	26		
					162	150	316	154
種類数 (種)	110	100	136	20.3	20.9			
				166	154			

IV	19	院内施設の改善及び利便性の向上 (P29)	<p>○院内施設の改善及び利便性の向上</p> <p>各病院で、法人全体の収支改善状況を踏まえた補正予算も活用し、患者や来院者に快適な環境を提供するなど利便性の向上を図った。</p> <p>(急性期C) : 車椅子での使用可能を目的としたトイレの改修、外来待合椅子の更新、病棟浴室のシャワー化、駐輪場の改修、患者等来院者に配慮した正面玄関風除室等の改修及び立体駐車場の整備に伴う駐輪・駐車可能台数の拡充など</p> <p>(呼吸器C) : 病棟12階における展望ホールの開設、ボランティア控室の供用開始、病室の空調設備の更新、浴室のバリアフリー化など</p> <p>(精神C) : 外来待合におけるパソコン設置、空調設備の更新など</p> <p>(成人病C) : 床頭台、洗濯機、乾燥機、特別室のドア等のリニューアル、病院のホームページの更新など</p> <p>(母子C) : コンビニエンスストア・軽食スペースの整備、駐車可能台数の拡充を目的とした立体駐車場の整備に着手など</p>
IV	21	検査待ち・手術待ちの改善	<p>○検査の実施状況</p> <p>5病院の高度医療機器稼働状況について、以下の取り組みなどによりCT・アンギオ・RIは、前年度実績・目標を上回り、MRI・リニアックは、目標</p>

(P31)

は下回ったが、前年度実績を上回った。 (P. 18 参照)

(急性期C) 臨床検査技師を3人増員し、検査体制を充実

(呼吸器C) 羽曳野市から受託している乳がん検診やマンモグラフィーの撮影について、検査枠を15枠から20枠へと増加

(精神C) 血液採取後、すぐに検査が行えるハンディ型自動血液分析装置の活用により検査時間を短縮

(成人病C) 緊急度に応じて必要な検査を実施するため、依頼医師と検査担当医師間で調整し、当日依頼の検査枠を10枠から11枠へと増加

(母子C) 6月から新たに月曜日の午後をCTの検査枠として増設するとともに、心臓超音波検査の当日依頼の検査枠を新たに設置

OCT・MRI土曜日検査の実施状況

- ・ 成人病センターにおいては、土曜日におけるCT、MRI検査を引き続き実施した。

<土曜日検査件数>

CT 421件 (対前年度15件増)、MRI 130件 (対前年度8件減)

○手術の実施状況

- ・ **麻酔科医の確保や医療機器整備などを積極的に行い、5病院全体の手術件数は、目標及び前年度実績を上回った。**

(急性期C) 22年度に全身麻酔装置等一式導入し、手術枠を7枠から8枠に拡大

(呼吸器C) 結核患者の緊急手術対応等を目的として、陰圧手術室を整備

(成人病C) 麻酔医1人を確保するとともに、月曜日の手術枠を6枠から7枠に拡大

(母子C) 常勤麻酔医を1人確保し、手術実施体制を充実させるとともに、23年2月から分娩室を手術室へ転用し、4月から本格運用

手術件数 (単位: 件)

病院名	平成22年度 実績	平成23年度 目標	平成23年度 実績	目標差
				前年度差
急性期C	6,137	6,000	6,593	593
				456
呼吸器C	1,535	1,500	1,488	△12
				△47
成人病C	2,764	2,780	2,832	52
				68
母子C	3,732	3,750	3,915	165
				183
法人全体	14,168	14,030	14,828	798
				660

第2 業務運営の改善及び効率化に関する項目

IV 26 自律的な経営管理の推進
(P38~39)

○財務状況の把握と改善の取組み

- ・ 財務会計システムを活用しながら、各病院の診療及び財務データの月次報告を作成し、計画目標や前年度実績との比較や経営状況の整理分析などにより、現状・課題を把握した。
- ・ また、把握した財務データについては、毎月開催される経営会議において各病院からその増減の理由・対応策を報告し、進捗状況を点検しつつ、各病院において地域連携による新規患者の確保や、医療の質の向上を通じた新たな診療報酬施設基準の取得により医業収益の拡大に結びつけ、さらなる経営改善に取り組んだ。
- ・ また、法人の自己財源（7.5億円）に加え、収支の改善状況を踏まえた医療機器の更新整備等を進めるための補正予算（約10億円）を措置した。

○財務の状況

- ・ 経営改善の取組みの結果、医業収益は、前年度と比較して27.3億円上回る560.8億円となり、計画値を15.3億円上回った。一方、支出面では、医業収益が前年度と比較して5.1%増加する中で、診療体制の強化等による人件費の増、収益の伸びに伴う材料費の増などにより医業費用は増加したものの、前年度と比較して25.5億円、4.3%の増加に止まった。
- ・ この結果、法人全体の資金収支差は、運営費負担金20億円の削減もある中で、前年度比較で14.8億円の減少となったが、計画を9.9億円上回る18.5億円の黒字を確保することができた。

資金収支の状況（法人全体）（単位：億円）

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 23 年度	計画との差
	実 績	計 画	実 績	前年度差
収 入	706.5	720.3	737.1	16.8
				30.5
うち医業収益	533.5	545.5	560.8	15.3
				27.3
支 出	673.2	711.7	718.5	6.8
				45.3
うち医業費用	595.5	622.3	621.0	△1.3
				25.5
うち資本支出	64.3	75.0	83.8	8.8
				19.5
資金収支差	33.3	8.6	18.5	9.9
				△14.8

- ・ 経常収支比率については、運営費負担金削減の影響で前年度実績を下回ったが、目標値を上回った。
- ・ 医業収支比率については、患者数増加及び診療単価向上に努めたこと等により、目標値及び前年度実績を上回った。

経常収支比率（単位：％）

病院名	平成 22 年 度実績	平成 23 年 度目標	平成 23 年 度実績	目標差	
				前年度差	
急性期 C	110.1	104.0	107.7	3.7	
				△2.4	
呼吸器 C	104.0	101.0	108.1	7.1	
				4.1	
精神 C	110.3	109.0	113.7	4.7	
				3.4	
成人病 C	109.2	104.0	105.6	1.6	
				△3.6	
母子 C	111.3	110.0	109.6	△0.4	
				△1.7	
法人全体	108.0	104.0	106.7	2.7	
				△1.3	

医業収支比率（単位：％）

	平成 22 年 度実績	平成 23 年度 目標	平成 23 年 度実績	目標差	
				前年度差	
急性期 C	98.3	94.0	97.4	3.4	
				△0.9	
呼吸器 C	81.4	82.0	88.4	6.4	
				7.0	
精神 C	64.8	63.0	66.8	3.8	
				2.0	
成人病 C	90.6	89.0	90.0	1.0	
				△0.6	
母子 C	89.5	89.0	88.6	△0.4	
				△0.9	
法人全体	88.4	86.0	89.0	3.0	
				0.6	

※法人全体は、医業収益 / (医業費用 + 一般管理費) × 100

IV	27	新患者の確保及び病床の効率的運用、診療単価の向上 (P40~42)	○医業収益等の総括																																		
	① ②		<ul style="list-style-type: none"> 地域連携の強化などによる新入院患者の確保や診療単価の向上に努めた結果、<u>医業収益は前年度と比較して、27.3億円上回る560.8億円となり、計画値を15.3億円上回った。</u>(対前年105.1%、対計画値102.8%) 																																		
			○病床利用率向上及び新入院患者数確保の取組み																																		
			<u>病床利用率、新入院患者数については、5病院中4病院が前年度実績を上回り、3病院が目標を上回った。</u>																																		
			病床利用率(単位：%)																																		
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th>平成22年度実績</th> <th>平成23年度目標</th> <th>平成23年度実績</th> <th>目標差</th> </tr> <tr> <th colspan="3"></th> <th>前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性期C</td> <td>91.4</td> <td>90.0</td> <td>92.3</td> <td>2.3 0.9</td> </tr> <tr> <td>呼吸器C(一般病床のみ)</td> <td>82.9</td> <td>84.0</td> <td>84.6</td> <td>0.6 1.7</td> </tr> <tr> <td>精神C</td> <td>82.1</td> <td>83.0</td> <td>83.1</td> <td>0.1 1.0</td> </tr> <tr> <td>成人病C</td> <td>88.5</td> <td>90.0</td> <td>89.3</td> <td>△0.7 0.8</td> </tr> <tr> <td>母子C</td> <td>79.4</td> <td>84.0</td> <td>79.2</td> <td>△4.8 △0.2</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成22年度実績	平成23年度目標	平成23年度実績	目標差				前年度差	急性期C	91.4	90.0	92.3	2.3 0.9	呼吸器C(一般病床のみ)	82.9	84.0	84.6	0.6 1.7	精神C	82.1	83.0	83.1	0.1 1.0	成人病C	88.5	90.0	89.3	△0.7 0.8	母子C	79.4	84.0	79.2	△4.8 △0.2
病院名	平成22年度実績	平成23年度目標	平成23年度実績		目標差																																
				前年度差																																	
急性期C	91.4	90.0	92.3	2.3 0.9																																	
呼吸器C(一般病床のみ)	82.9	84.0	84.6	0.6 1.7																																	
精神C	82.1	83.0	83.1	0.1 1.0																																	
成人病C	88.5	90.0	89.3	△0.7 0.8																																	
母子C	79.4	84.0	79.2	△4.8 △0.2																																	
			新入院患者数(単位：人)																																		
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th>平成22年度実績</th> <th>平成23年度目標</th> <th>平成23年度実績</th> <th>目標差</th> </tr> <tr> <th colspan="3"></th> <th>前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性期C</td> <td>16,600</td> <td>16,000</td> <td>17,178</td> <td>1,178 578</td> </tr> <tr> <td>呼吸器C</td> <td>7,986</td> <td>7,500</td> <td>8,711</td> <td>1,211 725</td> </tr> <tr> <td>精神C</td> <td>782</td> <td>700</td> <td>667</td> <td>△33 △115</td> </tr> <tr> <td>成人病C(人間ドック除く)</td> <td>8,905</td> <td>9,300</td> <td>8,924</td> <td>△376 19</td> </tr> <tr> <td>母子C</td> <td>7,956</td> <td>7,700</td> <td>8,239</td> <td>539 283</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成22年度実績	平成23年度目標	平成23年度実績	目標差				前年度差	急性期C	16,600	16,000	17,178	1,178 578	呼吸器C	7,986	7,500	8,711	1,211 725	精神C	782	700	667	△33 △115	成人病C(人間ドック除く)	8,905	9,300	8,924	△376 19	母子C	7,956	7,700	8,239	539 283
病院名	平成22年度実績	平成23年度目標	平成23年度実績		目標差																																
				前年度差																																	
急性期C	16,600	16,000	17,178	1,178 578																																	
呼吸器C	7,986	7,500	8,711	1,211 725																																	
精神C	782	700	667	△33 △115																																	
成人病C(人間ドック除く)	8,905	9,300	8,924	△376 19																																	
母子C	7,956	7,700	8,239	539 283																																	

平均在院日数（単位：日）

病院名	平成 22 年度実績	平成 23 年度実績	前年度差
急性期 C	13.4	13.3	△0.1
呼吸器 C	14.1	13.6	△0.5
精神 C	178.5	209.8	31.3
成人病 C	17.0	17.1	0.1
母子 C	12.6	12.1	△0.5

※呼吸器・アレルギー医療センターは、一般病床にかかる数値

○診療単価向上に向けた主な取組み

（急性期 C） 小児入院医療管理料 2 の取得 など

（呼吸器 C） 緩和ケア病棟開設に伴う入院料の算定 など

（成人病 C） 体制の充実による検体検査管理加算Ⅳの取得 など

（母子 C） 4 階西病棟における小児入院医療管理料 4 の取得 など

（参考）入院診療単価

（急性期 C） 58,196 円（前年度 54,943 円）（対前年 105.9%）

（呼吸器 C） 36,970 円（前年度 35,226 円）（対前年 105.0%）

（精神 C） 17,737 円（前年度 17,674 円）（対前年 100.4%）

（成人病 C） 53,265 円（前年度 52,727 円）（対前年 101.0%）

（母子 C） 74,832 円（前年度 74,533 円）（対前年 100.4%）